

【ユニット】 人体の構造と機能 1 - 3

【ユニットディレクター】

UD：高野 和敬（解剖学）

【一般的な目標】

臨床医に必要な生命への深い理解と実証精神を涵養するために、組織学と発生学の基本を身につける顕微鏡実習、肉眼解剖学の標本観察、診察体験を通じた神経機能の観察、さらに体の障害に対するアプローチとして臨床現場の実例紹介を通じて、ヒトの体の全体像をそのなりたち(発生と進化)に基づいて理解する。

【具体的な目標】

1. 人体構造の階層性について説明できる。
2. 顕微鏡標本の作製法と観察法について説明できる。
3. 人体を構成する基本組織の構造と機能について説明できる。
4. 配偶子形成と受精過程について説明できる。
5. 三胚葉の形成と細胞分化のしくみについて説明できる。
6. 原腸と神経管の形成過程について説明できる。
7. 脊椎動物の個体発生と系統発生の関係性について説明できる。
8. 解剖学の知識が診断や治療手技に応用される事例を説明できる。
9. プラスティネーション標本を観察して断面解剖の必要性を説明できる。
10. 解剖学の歴史について説明できる。
11. 篤志献体と医の倫理について説明できる。

【学習方法】

講義と実習により学習する。講義ではさまざまな構成要素の形態と、それらが形成される過程（発生と進化）、さらに構造に関連してどのような機能が営まれるかが解説される。さらに臨床現場から、体の構造や機能の障害に対してアプローチする実例を紹介する授業も組み込まれている。各種の標本観察や診察実習などの体験学習は極めて有効な学習機会であるから、主体性をもって取り組んでほしい。

実習の詳細については、ユニット開始時に掲示する各実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

出席要件についてはユニット内の全ての授業は講義・実習の実施形態に関わらず講義扱いとする。また、形成的評価として授業内で実施した課題(小テスト)については、当該授業(教材)の中で解答と解説を提示する。提出されたレポートは添削の上、返却する。

シラバスに従い予習、復習を行い、疑問点については教科書や参考書を参照するとともに、教員への質問等で解決すること。質問等は、授業時間に加えオフィスアワーにも受け付ける。毎日の規則的な学習習慣を維持するように気をつけてほしい。実習は貴重な体験学習の機会であるので、積極的に参加して学習内容について理解を深めること。

【評価方法】

人体の構造と機能1コースの評価方法に従う。

学期末に定期試験を実施する。ユニットの評価は、定期試験の結果のみに基づいて行う。本試験は MCQ

形式 50 点満点，記述式問題 50 点満点で合計 100 点満点とし、合格基準は 65 点とする。この基準に達しない場合は、学年末に当該ユニットの再試験を行う。再試験は本試験と同じ形式とし、合格基準は 65 点である。再試験および追試験は 1 回のみ実施する。

【教科書】

- ◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂） 第 20 版
- ◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂） 第 20 版
- ◆ 診察ができる vol.1 身体診察（メディックメディア） 第 1 版

【参考書】

- ◆ Essential 細胞生物学（南江堂） 原書第 4 版
- ◆ 標準組織学 総論（医学書院） 第 6 版
- ◆ 標準組織学 各論（医学書院） 第 6 版
- ◆ エッセンシャル発生生物学（羊土社） 第 2 版
- ◆ ラングマン人体発生学（メディカルサイエンスインターナショナル） 第 11 版(原書第 13 版)

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
SF 1-3 1	11月30日	(月)	2	組織学1（細胞の構造）	高野（解剖学）
SF 1-3 2	11月30日	(月)	3	組織学2（組織の分類）	高野（解剖学）
SF 1-3 3	12月01日	(火)	1	組織学3～5（組織学実習1）	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 4	12月01日	(火)	2	同上	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 5	12月01日	(火)	3	同上	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 6	12月07日	(月)	2	組織学6（上皮組織の基本構造）	高野（解剖学）
SF 1-3 7	12月07日	(月)	3	組織学7（支持組織の基本構造）	高野（解剖学）
SF 1-3 8	12月08日	(火)	1	組織学8～10（組織学実習2）	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 9	12月08日	(火)	2	同上	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 10	12月08日	(火)	3	同上	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）
SF 1-3 11	12月10日	(木)	2	発生学1（細胞分化と細胞系譜）	高野（解剖学）
SF 1-3 12	12月10日	(木)	3	発生学2（受精と初期発生）	高野（解剖学）
SF 1-3 13	12月11日	(金)	3	発生学3～5（発生学実習1）	高野（解剖学） 栗崎（解剖学） 青地（解剖学）

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
SF 1 -3 14	12月11日	(金)	4	同上	高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1 -3 15	12月11日	(金)	5	同上	高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1 -3 16	12月14日	(月)	2	発生学6 (三層性胚盤)	高野 (解剖学)
SF 1 -3 17	12月14日	(月)	3	発生学7 (原腸と神経管の形成)	高野 (解剖学)
SF 1 -3 18	12月15日	(火)	1	発生学8~10 (発生学実習2)	高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1 -3 19	12月15日	(火)	2	同上	高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1 -3 20	12月15日	(火)	3	同上	高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1 -3 21	12月17日	(木)	1	臨床解剖学1 (神経系の診察)	永島 (解剖学)
SF 1 -3 22	12月17日	(木)	2	臨床解剖学2~3 (神経学的診察の体験)	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学) 松澤 (解剖学)
SF 1 -3 23	12月17日	(木)	3	同上	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学) 松澤 (解剖学)
SF 1 -3 24	12月24日	(木)	4	臨床解剖学4 (組織欠損の修復と手の形態異常)	時岡 (形成外科)
SF 1 -3 25	12月24日	(木)	5	臨床解剖学5 (内視鏡で見る消化器官)	石橋 (医学教育C)
SF 1 -3 26	01月12日	(火)	3	臨床解剖学6 (関節鏡で見る関節の内部構造と手術)	杉田 (整形脊椎外科)
SF 1 -3 27	01月15日	(金)	3	構造の観察1 (画像診断と手術手技)	永島 (解剖学)
SF 1 -3 28	01月15日	(金)	4	構造の観察2~3 (プラスティネーション標本の観察)	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学) 松澤 (解剖学)
SF 1 -3 29	01月15日	(金)	5	同上	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学) 松澤 (解剖学)
SF 1 -3 30	01月18日	(月)	4	解剖学の思想 (医学の歴史)	永島 (解剖学)
SF 1 -3 31	01月18日	(月)	5	実習序論 (人体解剖と医の倫理)	永島 (解剖学)